

8-8 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Deformations in and around Intraplate Seismic Gaps

気象庁・気象研究所

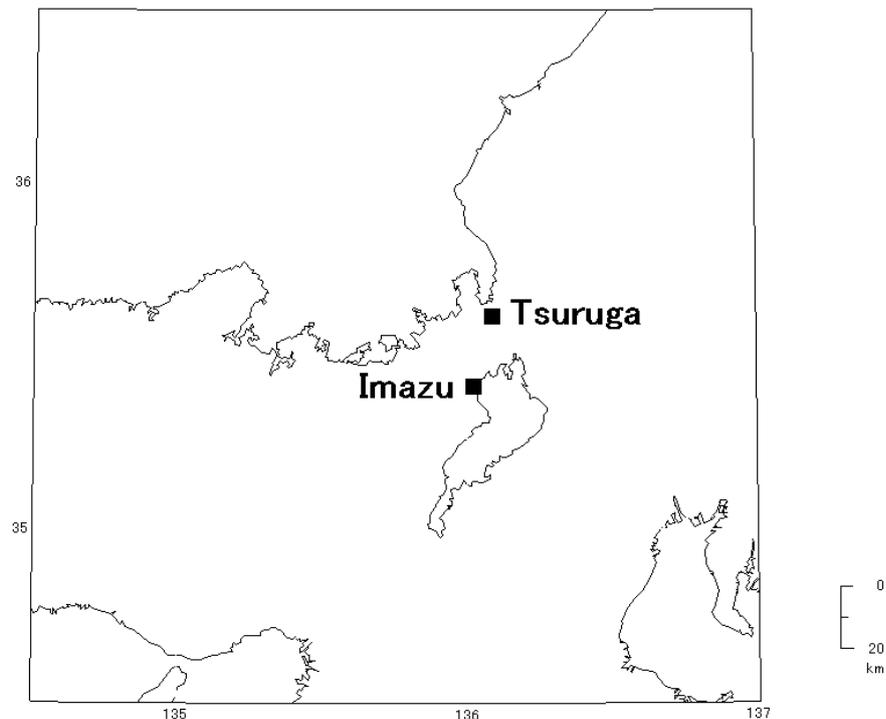
Meteorological Research Institute, JMA

気象研究所では、いわゆる「内陸部の地震空白域」の調査研究のため、近畿地方の今津（滋賀県高島市、 $35^{\circ} 25' 18''$ N, $136^{\circ} 00' 52''$ E）および敦賀（福井県敦賀市 $35^{\circ} 37' 04''$ N, $136^{\circ} 04' 12''$ E）に石井式三成分歪計、傾斜計からなる地殻変動観測施設を設置し（第1図）、1996年5月より連続観測を行っている。

第2, 3図に今津・敦賀観測点の2002年11月1日～2005年10月31日の3年間、および2005年5月1日～2005年10月31日の6ヶ月間の観測データ（時間値）をそれぞれ示す。

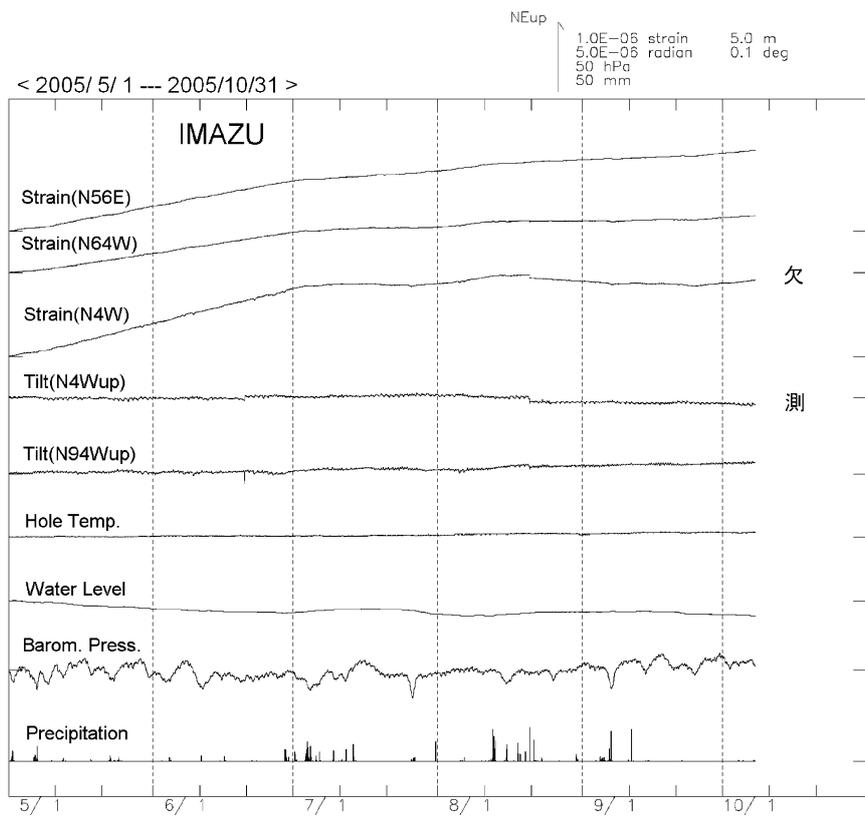
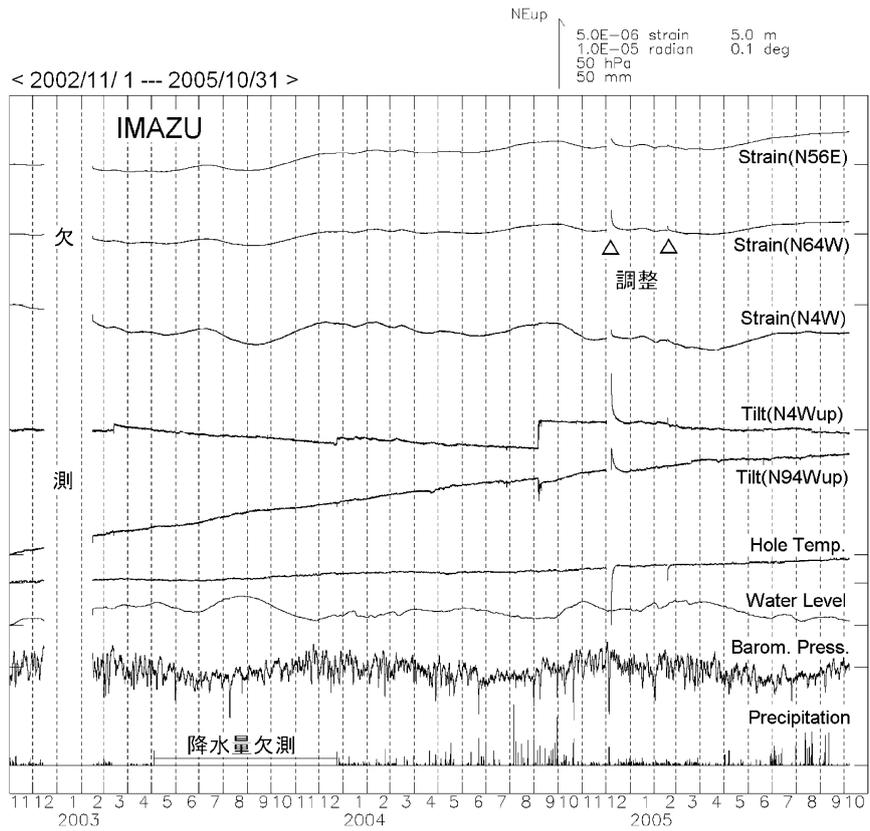
参 考 文 献

- 1) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動観測, 連絡会報, 57 (1997), 554-558.
- 2) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動観測, 連絡会報, 61 (1999), 428-432.
- 3) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 64 (2000), 351-354.
- 4) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 69 (2003), 445-447.



第1図 今津・敦賀観測点の位置

Fig.1 Location map of crustal deformation observation stations (Imazu and Tsuruga).



第2図 今津観測点における(上)2002年11月~2005年10月,(下)2005年5月~2005年10月の歪・傾斜変化(時間値)。2002年12月中旬から2003年2月中旬と2005年10月上旬からの欠測は収録装置の故障のため。

Fig.2 (Upper) Changes of crustal strain and tilt at Imazu from Nov. 2002 to Oct. 2005. (Lower) Changes of them from May 2005 to Oct. 2005. Data from the middle of Dec. 2002 to the middle of Feb. 2003, and in Oct. 2005 were lost by a trouble of the recording instruments.

